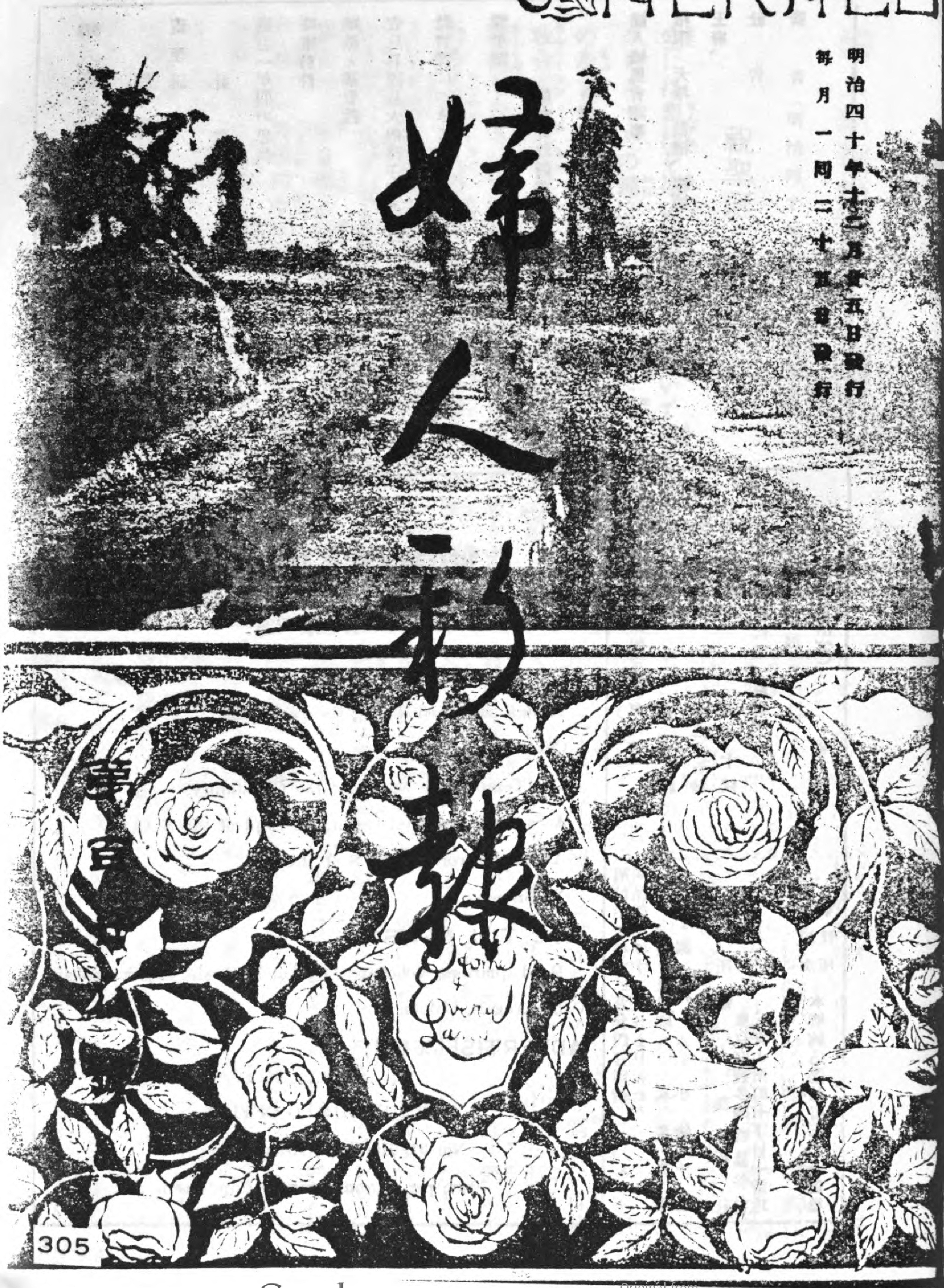
WOMANS HERALD

婦人新報

明治四十年十二月廿五日發行
毎月一回二十五日發行
第百



305

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿八號

目次

祝聖誕　社説
過去一年間の思出
時事數件
矯風と基督教　石川和助君
安息日課長大内淺子姉の訃
教育課につきて　渡邊常子
青年部
仙台自助館青年部
金澤青年部
婦人矯風會記事
横濱、大坂、前橋、藤岡、堺、羅府、王府、
社告
廣告

社告

◉婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）	金六錢
六部（前金）	金三十九錢
十二部（前金）	金七十錢

（郵券代用一割増）

◉廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十年十二月廿四日印刷
明治四十年十二月廿五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　小崎チヨ
發行所　婦人新報社　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地
編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町三十一番地

No. 128.　　DECEMBER 1907.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Christmas!

Things happened during the past year.

Current events.

The Temperance work and the Christanity.

A Sad news of Miss Ōuchi, the Supt of the S. O.

About the work of the S. T. Dept.

Y. Branch.

W. C. T. U. NEWS.

Head quarters, Yokohama, Ōsaka, Maibashi, Fujioka, Sakai, Los-Angels, Oakland.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 31, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70sen per Annum.　Single Copy 6sen.

婦人新報第百二十八號

（明治四十年十二月廿五日）

祝聖誕

空には銀沙を撒いた様に星が輝いて遠くまた近く響くクリスマスの鐘は此の靜かな夜に鳴り渡つて往來の人の歩すら今宵は樂しげに聞かれます奇麗に飾り付けた教會では可愛らしい無邪氣な小兒等が心から歌つたり暗誦したりして平和の君の御誕生を祝して居ります老たる人若き人の顔にも平和の光が輝いて本當に樂しい〳〵天國の團欒も斯樣であらうと思はれます罪になやむ人歎に沈むものも皆我を忘すれて暫しは樂しい夢を見て居る事と存じます二千余年の昔にベツレヘムの賤しい馬槽の中に生れ給ひました救主を頌へました天使の歌は今宵も同じく歌はれて居ります閃く星を辿つて遥々ベツレヘムニ參りました東方の學者等は價貴い賜物を捧げまして御誕生を祝しました私共がさゝぐべき贈物は何んで御座いませうか咲き匂ふ美はしい花でせうか嚠喨たる音樂で御座いませうかキリストの御誕生は私共に恵の福音で御座います犧牲の精神は此時から人間の心に深く根ざゝれました私共の捧げ物は愛の光私共の心で御座います知識が進みますに從つて色々の罪惡が行はれて參りまして外は文明とか何とか申しまして人間の心も進んで來た樣に思はれますが決して左樣では御座いません自分の幸福の爲めには他人を犧牲にしても厭はないと云ふ樣な世中で却而眞面目に慈善の働をして居る人々を笑つたり正直に働いて人の務を全うして居る人を愚物の樣にあつかつたりいたしまして神樣の前には實に汚ない世間で御座います罪の子は罪に罪を重ねて死に瀕して居ります暗を照らし給ふキリストの御誕生日は僅かに枉がれる世の人に光を與へる事であると思ひます「いと高き所には榮光神にあれ地には平和人には惠あれ」と歌ふ私共の心に眞の平和と惠を受けまして同胞を神樣の御前に導き社會の忌はしい弊風を矯正いたしまして世の凡ての人々が同じ心を以て天の榮光を賞め頌へキリストの平和が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

永に此世を支配なされる様に私共撰ばれた者が其責を深く感じて日々に其職を盡したいと思ひます玆に讀者諸氏と心からの喜と感謝を以てキリストの御降誕の日を祝します

過去一年の思出

今年も殘り少なになりましてお互様に何となく心いそがはしく思はれるので御座います非常な決心と勇氣と希望とを以て新しい年を迎へましたが今になつて考へて見ますると思ふ事はなか〳〵果されませんで却而思ひもよらぬ事に逢ひまして折角の勇氣もそがれ希望も失せてしまつた事も少なくはなかつたので御座います病氣と云ふ不親切な友だちに見舞はれましてなすべき事の多いのに空しく活動の世から離れましたりまた共に力を盡くして働ふと誓つた人は無きものになつたり其他色々の憂き目にあつたりしましてつぶやいた事もないでは御座いませんがヨブの困苦を讀みましては「エホバの與へ給ふ者エホバまたとり給ふ」と云ふ言葉に馴されて何事も忍耐いたしました然し一年間の歷史はさう悲い事ばかりではありませんでした喜ばしい事感謝いたすべき事も多く御座いまして却而感謝いたす事が多い位で御座いました先づ今年の婦風會の働の重なる者を擧げますれば大阪支部に於ては婦人ホームが設立されまして其働は世の人々の知つて居られる通りて實に實のあるまた社會に欠く事の出來ない設備て御座います、上州の支部ては存娼問題に强く反對いたしまして會員の至誠と奮發とは常に存娼問題を打ち消す樣になつて好模範を殘しました、また斯樣な人道問題の起りました爲めに新らしい支部も產れました其れが爲めに刺激されて醒めました支部も御座います本部の方ては六回も大演說會を開催したり時事問題に携はつて斯業の主義を擴く傳へまた社會に貢献いたしました事も決して僅てはないので御座います社會の多くの人が段々と私共の主義を認めてくれる樣になりましていづこの集會にても滿場の聽衆を得たと云ふ事は決して徒らな事では御座いませんか樣に考へて見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ますると全く過去一年の歴史は感謝のそれてありまして私共はこの四十年を送りますに萬腔の感謝を以ていたしたいと思ひます

時事

○競馬の狂熱　馬匹の改良を目的として開始されし競馬は今や一種の賭博と變じて競馬場裡の不態言語に絶すると云ふ過日目黒の競馬場に於いて或人が其馬の足折れて進む能はざるを見て憤然箭を射て之を殺せし珍事ありたり公衆の目前に於て之の殺風景を演ず然かも餘りに之を怪しむ者なかりしと云ふ吾人動物を優待するの課を設けて之が實行を勸め居れり吾人は馬車の馬に鞭打つさへ之を見るに忍びず一種の惡感を覺ゆるなり然るを人間の慾望を滿たさん爲めに使役さるゝ馬の負傷せしとき之を射殺すとは何等の非人なるよ之をいたはり之に藥を與へて靜に其場所より去らしむるは之れ人情の常なり彼等は金ありて慈愛なきなり彼等の行動は禽獸よりも劣る者なり然して之を默視する人々の心事もまた憐れむべきものなり特に公衆の中に婦人も多く見えたりと云ふ愛は婦人の生命にして慈悲心は男子に於てよりも一層婦人に俟つなり然るを何事ぞ男子と伍して賭をなし動物の苦役を意とせざるとは吾人は實に我同胞の中に斯かる殘忍酷薄なる婦人のある事をいたく悲しむ者なり風俗を亂し人々を猛惡になす競馬の如き不健全なる事業の一日も早やく禁ぜられん事を切望して已まざるなり

○英國婦人選擧問題　木曜午後二時門外漢

婦人問題は、文明諸國、共通の問題に候。而して婦人問題の一半は、女子職業問題にして、他の一半は、婦人參政權問題に候。

英國現內閣が、社會主義者の爲めに、惱されつゝあるとは、既記の通りに候。此れと同時に、婦人參政權要求者の爲めに、屢ば其の演說會を、騷がしめられ。甚だしきは、議場內に闖入して、此れが爲めに數名の婦人は、刑事上の被告人となりたるとあり。而して頃ろリーヅに於ける、內務大臣グラッドストーン氏の演

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

說會は、此の婦人參政權要求者の爲めに、破壞せられ了りたる由に候。且又た女壯士共は、倫敦及び地方の警察署を襲ひ。參政權なき婦人を、男子の作爲したる法律にて、審判すべき理由是れなし抔と、狂暴致し居り候模樣に候。

婦人參政權の問題は、普通選擧と、至密の關係を有し候。總ての丁年男子に、選擧權を與へつゝ、婦人にのみ之を拒絕する理由なしとは、一寸聞へたる理屈と可申候。

婦人參政權の問題は、女子敎育問題と、至緊の關係を有し候。女子が男子同樣に、敎育を享けつゝあるに女子にのみ參政權を、與へざる筈なしとは。一應聞へたる議論に御座候。而して男女の區別を無視し、且つ其關係を、殆んど無視せんとする社會主義の流行は。愈よ婦人參政權の要求に、火の手を加へ、油を濺ぎたるとと可相成候。

併しながら婦人に參政權を與ふるの結果は、家庭の上にも、社會の上にも、恐らくは國家の上にも、非常なる變動を及ぼすとは、殆んど必然の勢と申さねばならぬ事也。

是れ果して祝すべき乎、弔すべき乎。何れにしても此の問題は、決して輕易の問題にあらず候。而して正直に云へば、記者は他國に於ては、いざ知らず。我が帝國に於ては、斯る問題の出來せざらんとを、希望するものに候。何となれば其の結果は、國家の存立を危くするに立ち到る可ければ也。

吾人は所謂る婦人の解脫なるものに對して、淺からぬ同情を表す。而して婦人の高等敎育に就ても、勿論異存なし。されど男女の區別を、無視し。女子をして變性男子たらしむるが如きは、乃ち女子の爲めに、甚だ嘆惜する所に候。我國女子敎育に幹たる者は、此邊に三思して可也。兎も角も歐洲に於ける婦人問題は、多大の注意を要す。(國民新聞)

日本禁酒同盟會の建言書過日同盟會々長安藤太郎氏が親しく文相に接し提出されし議案は左の如し

(議案)全國敎育者に禁酒禁煙の實行を促されんことを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文部大臣に建言の件

（理由）教育の要は識者を供給するのみにあらずして道を行ふ人を造るにあり、道義的知識を客觀的に授くるにあらずして日常實行の習慣を養ふにありとは牧野文相が演説に訓示に屢々公言せらるゝ所にして吾人は深く文相の意を諒とするものなり、然るに世の青年學生が日常實行に意なく又道を行ふの志に乏しくして放縱に陷るものあり、即ち白晝公々然として喫煙しながら大道を濶歩するもの頗る多く、甚だしきに至つては酒を呼び妓を聘して而かも恬として怪まざるもの亦甚鮮しとせず、將來國家の中堅として立つべき前途多望の青年をして斯る亂行を敢てするに至らしむる所以のものは其原因多々あるべしと雖も、直接教育の重任に當れる世間多數の教育者が飲酒喫煙以て實踐躬行の德を缺き隨て彼等青年學生に不良模範を示し惡感化を與ふること其の最も有力なるものならん乎是れ本會が特に本案を提出する所以にして文相の眞意亦實に之れに外ならざるべきを信ず、本案幸に滿場諸君の賛同を得ば、日本禁酒同盟會長は親しく文相に面謁懇話の上之れが實行を期せんことを切望の至に堪へず。

再等は當局者の公平なる處置を求るや切なり

○厭はしき現象、伊東海軍中將事件と云ひ高麗藏問題と云ひ實に寒心の至りなり事實の眞相は吾人の熟知する處にあらざれども兎も角も上流社會に於ける家庭の不健全なる事は疑ふ可からざる事なり上のなす處下之を習ふ道德心の欠乏其れ國家の不吉なる現象なり世人玆に大に鑑ざる可からず

矯風と基督教

石川和助

（基督教婦人矯風會長矢島楫子の請に因り）

相州基督教婦人矯風會は早くから出來て居て今日此樣なよい集會が開かれたことは私の深く喜ぶ所であります今日は何事を致すにも團躰を組て致す時代であります酒屋や惡商賣をする者ですら組合を作り其力で目的を達しようとして居ます昨年私は紐育の某飲食店で朝飯を食べながら新聞紙におかしい見出を見付けましたから讀で見た處が北米合衆國酒類營業者の年會が實に妙な決議案を通過した事が書いてありました其要點を御話申せば「白リボン黨リボン其他の禁酒會の主意には北米酒類營業者の總會も賛成であるから出來る丈同情を以て協力し「サルーン」や其他飲酒屋に於ける暴飲や色々の惡風を矯正することに盡力すべし云々てありました酒屋の大會が此樣な決議を致たのは何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か底意が有っての事かも知れませぬが今日となりましては白標婦人矯風會や凡て禁酒會の勢力が非常に強くなり其目的の立派なると其理論の正確なるには如何に酒類營業者と雖ども正面反對が出來なくなつたことを彼等が自白したものだと私は思ひますコロンビヤ大學の社會學の大家キッディング先生も或時講義中に近來政治家をして非常に恐れしむる社會の一勢力は萬國婦人矯風會やあの様な團軆であると申されましたとういふ譯ですから相州基督教婦人矯風會も既に勢力ある會でありましようが將來は實に盛大なものになるに相違ありませぬ私は美山氏の御勧めて今日罷出ましたが今皆様に御目に懸て見ますと御年齢ばかりでなく御信仰や學識に於ても私の御母さんやお姉さんだちが大勢御居てありますから何を御話してよいか實に分らないので困ります私は謙遜ではありませぬ本當に日本の婦道をよくは心得て居りませぬ又欧米諸國の婦道や風俗氣質などはホンのカヂつて居る丈でありますから皆様に御耳新しい様な事は何も御話し申上げることは出來ませぬから只私が基督教婦人矯風會に對して持てる同情と鄙見の一端を謹で述べ度と思ます矯風と基督教の關係に付て御話致度と思ます私の話は餘り精神的の方面に偏する嫌があるかも知れませぬが然し家庭改良や社會一般の矯風は個人の心を改むることに力めなければ成功は致しませぬ欧米に於きましても宗教の信仰に重を置かぬ社會改良事業は餘り成功して居りませぬ勿論宗教的の考からでなく人道人情の動機から慈善事業や社會矯風を致すことは立派な考であります私は實に深くそれに感心して居ますが如何にせん宗教に因らぬ事業には何やら感化力の足らぬ所があります無宗教の社會主義者の言論や事業には兎角弊害と失敗か多い様であります

御承知の御方も有りましようが新渡戸博士は其著書武士道の中に日本婦人は餘程立派な者であるとして外國人に日本婦人の精神を紹介して居ります私は之を喜で居る者ですアメリカに居ました時に諸方の教會や「クラブ」から演説を頼まれまして其何所に於ても我日本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の姉妹は天照太神を初めとしいつの時代に於ても誠に立派な者が多いといふて自慢話を致しましたアメリカ人等は此自慢話を喜て聞て呉れました多分陰でも笑ふ樣なとは無かつたかと思ます或人だちは深切に「そうか其樣に立派な婦人だちだから滿洲であの樣なイライ事をいたした息子を生だのだらうなどゝ申しました

私が自慢話に致した事の内で新渡戸博士の著書日本魂の中に有る一二節を一寸御話申上ます

『日本は古來女子に三從の教といふものがあるそれも「娘は父の爲めに妻は夫の爲め母は子の爲めに其身を犧牲にする」のであるから日本女子の一生は斷へず己に克ちて其身を犧牲にするの生涯であるそうして日本の女子は全く家庭的 Domestic である家庭は彼女の王國である又彼女は其身の貞操と家庭の神聖をば自分の生命に掛けて保護する必要の場合には其懷劍を以て其薙刀を以て之を防禦する Self Renounciation 即ち我家の爲るには自身を全く棄てるが日本女子の精神であることは日本武士が主君の爲めに身命を献けて居るのと同樣である』

古來女子三從の教を博士の如くに善く解釋した賢婦人やそれを實踐した淑徳の名婦人も澤山ありましたと思ますが今日の日本女子も亦是見識ありて其徳を其身上に家庭に社交に實踐して居るならば基督教婦人矯風會の御骨折の割合に輕く濟むことでありませうが今日世間一般の有樣は恐くはそうでありませぬ

よしそれがその樣に宜くあるにしても其丈では今日の日本世となりてはとても滿足は出來ませぬ二十世紀の日本婦道は理想も實行もモット完全でなければなりませぬ

日本には古來武士の妻女にして立派な性行の者が隨分多く有たといふことは演説や書物によくありますが農工商の妻女中にも實に感心な性行の妻女も母も姉妹も澤山有つたし今でも有ると私は思ます彼等が貧苦艱難の中によく忍耐し家庭の不倫無情なるを永の年月の間よく辛棒してたゞ其家族の爲めに粉身碎骨するを厭はず何の樂もなく殆ど自己あるを忘れて居る犧牲的生活は如何なる讃辭を以て頌揚してよいか分りませぬ只實に感服といふ外ありませぬ

然し試に是等の善女にあなたの苦と忍とは何の爲めてすかと問はゞ恐くは餘り判然とは答へぬ何の爲めてありませう只彼等の心中には左の如き答があるでせう

（一）日本の女の風習ですから（二）ドウモ仕方がないか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら(三)我親我夫我子の爲めに右第三ヶの答は眞の家族的愛情が彼女の犧牲の精神である第一第二の答の奥には矢張此精神が含であると見てよろしいです日本女子は家族の爲めに犧牲となるを甘じ基督は人類の爲めに犧牲となり給ふたと申してもよろしいかも知れませぬが然し基督の犧牲は人類の爲め又道義の爲めであり人類を化して神の聖なる子供にする爲めであつたのですが日本女子の犧牲には基督の樣に道義的の目的が判然して居りませぬでした幾分かそれが有ても神に頼りて其目的を達するといふ所の宗教的要素が充分でありませぬでしたから彼等の骨折と忍耐が割合に其効能を德化の上に顯すことが出來ませぬでした事は誠に殘念至極で私は深く此事を思ふ時には日本女性の爲め同情の涙にむせぶことがあります

ですから日本の婦道と基督教とを是非結着け度と思ひます

昨年アメリカの大統領ルーズベルトが(Natinal Congrss of Mothers)全國母の議會に臨で演説した其一節に「夫婦は相互に其權利を承認することはよろしい事であるが夫婦相互に其權利を主張するよりは寧ろ互に忍耐して其義務を盡す方がより多くの幸福なる結果が得られるから全國の母だちはよく此事を娘だちに敎ふる樣に」と申しました是は米國人はよく個人性が發達して其權利の貴重な事を知て居る所から一寸弊風を生じて夫婦間や家族間には權利を主張することが過る場合が間々出來て來たから此弊を矯めようかと思ふてルーズベルト氏がかく曰はれたものでありますけれどもアメリカの基督教の家族に於ては其樣な間違たると不幸なことはなく家族各自が充分に其權利を尊重する計りでなく家族中他の者の權利を認めて之を尊重し自分はよく忍で其義務を盡して居るのでありますから實に完全に近いと申してよろしう御座ます

日本女子の短所は米國女子の反對です個人生の發達が未だ不充分で女子の特權と長所とを自からよく認識して居らぬと思はれます

然し日本女子は百代の間に養はれた美德を持て居る即

ち專ら其義務を盡すことを力め自己を棄てゝ其家の爲めに犧牲になる精神を貴で居ます折角此美德を持て居ますから私は日本女子に權利の觀念を强くするよりは寧ろ女子の特長即ち男子の持たぬ秀美の性質を認識して益々自重自敬して其長所を以て神に奉事し人類を祝福する樣にさせ度と思ひます

前にも述べました通り日本女子の美德は基督教婦人にも劣らぬ程であるのに其德行の感化が割合に少なかつたのは誠に女性の爲めに殘念でしたがそれは何の爲めでしたらうか女子が男子に馬鹿にされて居たからだと思ふ人もありませう、或はそうでせう古來美德を持てる日本の女性に對して甚失禮でありますが今迄は女子の理想と見識が充分高くはありませぬでしたから女性の骨折が家庭を幸福にし社會を潔め國家を高くすることが割合に少かつたと思ひます

日本女子の長所は益々發達させ短所を補ふ者は何でありませうか基督教に勝るものはありませぬ基督の愛と犧牲の精神は日本女子の秀美なる性行を益々完全に致します又基督教は女子をして神が男性に賦與せずして女性に賦與した特質即ち男性も及ばぬ程の美妙なる靈感愛情柔和貞潔を以て居ることゝ女子の務めは獨り家庭に限られずして廣く社會教會の事又教育政治等人間社會の萬事に對して女子の負ふ所の責任あることを自覺せしむる所の宗教でありますから世界多の宗教中基督教程女性を高むるものは他にありませぬ是基督教に依れば如何なる不幸の家庭も幸福になり如何なる弊風も矯正することが出來ます美山姉が家庭の事に付て話せと仰やりましたから一寸家庭に關する聖書の教を御話し致します親は神の教訓と警戒を以て子を養育すべく子は神の教に基て孝行をすべく夫はキリストと教會を潔めて聖なる者となさんが爲めに之を愛し之が爲めに自己を捨て給ひし如く其妻を愛すべく妻は主イエスに服ふ如き心にて凡の事其夫に服ふべく主人も僕婢も共に同一の神に奉事し親切と忠實とを以て使かひ使はるべし云々と教てあります先日私は實に感ずべき話を聞きました岡山孤兒院の近所に實に憐れな婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がありました其夫は箸にも棒にも掛からない人で其婦人は度々離別を思ふたがたゞ其子の成人を樂みに十數年間忍で居ました處が飲酒家の子供にはよく有る通り其子は學校の成蹟が非常に惡いので教師は退校させねばならぬといふて來ましたすると其婦人はそれでは私の生て居る望みはモー一ツも無くなりましたと曰ひました或人が之を慰めて石井十次氏に相談して見ろといふたら其婦人は早速に石井さんを訪ふて一切を話しました石井さんは「あなたは良人の爲めに祈禱をなすつたことが有りますか」と問ふたら婦人は其は何の事ですか一向知りませぬといふので神樣に祈禱することを敎へました婦人は一心に神に祈りましたすると實に不思議や其夫は夜も家に居る樣になり退校されんとした其子に算術など敎ふる樣になり家庭の和樂家人の幸福は回復されましたそうです　私は先日八年目で私の鄕里へ參りましたが或醫者の妻君が喜て色々話しました「悴も先生の御世話になりまして兎に角に兵役も務まる程の身躰となり妻子さい持てる身になりました過る頃老父も自分から願出てヽ受洗致し全家信者となりましたの御陰樣で全く生れ變り非常な出來事に出遇ましても信仰益々堅固になりました樣子でモー　私は何も心配なく日々喜て計り居りますまたあのおせよと申す女中も洗禮を施して頂きましたッけがあれは九ヶ年間よく勤めまして本當に立派な信者になりました或時私がおせよお前の桂庵は實にお前から金を取りて不都合な奴だねと申しましたら奥さんはそう仰しやいますがあの桂庵が私を御宅の樣なよい家に連れて來て私は信者になれましたから私は少も怨みませぬと申しました私も實にそれには感心致ました今は越後に歸鄕して居ても尙信仰を懐て居りますまたあのよく喧嘩を致した小僧も今ではあの通り信者で立派な薬局生になりました」云々と皆さんよく御聞き下さいこの二の家に基督敎が入りませぬ以前是兩婦人がドレ程心配したか苦んだかさびしかつたか犧牲的に骨折たか實に想像も出來ませぬ程でしたが其効果は如何といへば單に其家庭を大破裂より救ふた丈でしたが基督と神樣とに信頼する

ど忽ち此樣な著しい御恩惠を以て祝福されました次第でありますから基督教に因れし皆樣の目的たる如何なる矯風も必ず出來ます

私は未信者の御方々が是非信者にお成りなさることを懇々御勸め申し神の御祝福を相州基督教婦人矯風會の爲めに祈て此演説を終ります

大内淺子姉の訃

秋風落葉を飜し候は既に昨の夢と相成り、今や吹き荒む木枯に孤禽の悲鳴する寂寞の候と相成申候、冬がれの空とも云へば、さなきだにうらさびしき思して意氣も消沈に傾きやすく有之候に、いとも悲しき訃音の諸姉を驚かし申すもの有之候、即ち本會安息日課長大内淺子姉の御長逝の事に有之候。

御承知の如く、同姉は本會に於ける有力なる課長にして三十二年度の普蓮士女學校の御出身に有之候、今日迄母校の舍監として、令名を博し給ひ、傍ら基督教のあらゆる團躰に同情をよせられ、日夜たゞ神の道の隆昌を期して盡瘁せられ給いしこと、決して尠からず候ひき、且人となり温雅におはし、其玲瓏の德其溫容と相待ち、誰人よりも敬慕を享け給ひぬ、姉の主義に不斷の活動にて候ひき、凡そ如何なる繁務の時と雖ども露倦み給ふ氣色もなく、笑を含みつゝ從容として己が執務を續け給ひぬ、矯風會の大會あるは演説會のおりの姉の盡力は、たゞ感謝のほか無之候ひき、妹等は、今や、此支柱とたのみし良會員を失ひ、愛惜の情殊に深きを覺ぼへ申し候、眞に同姉の訃は本會に對する大なる打撃に候と同時に、本會員諸氏は深く同姉の功績を銘記すべきものにして、最後に姉の主義たりし不斷の活動は最も妹等の服膺すべきもの、且之に依りて、やがては敬愛せる姉の死も酬ひらるゝものと存候。（秀子）

教育課につき

時既に晩秋田野の垂穗は黃金色を呈して收穫を要するの頃とは相成申候處諸愛姉には相變らず唯此一事を務むるの標榜のもとに御盡瘁の事と存候

扨本年度教育課事業として大會後種々思考仕候へ共妙

案も浮ばずそれに他の事業に繁忙なる小妹等の事故心にかゝりながらも終に今日まで是に關し筆取事さへ怠り候やうな次第御諒察被下度候左に本課につきての愚見御參考までに申上候本年の大會に於ては第一に心付き候は一二の支部を除きて各支部に本課の未だ設立なき事に候ひき

抑も矯風會の事業たるや教育の事業とは一日も相離るべからざる密接の關係を有するものなることは申すまでもなき事なるが本會の主旨を實行せんには先づ教育課を設くるを要することゝ存候若し教育家に矯風の精神を鼓吹し共に相助けて社會の矯風上盡くす處あらば其効果は實に多大なりと信じ申候就ては大會の際代員の諸姉に此義豫め御願申上置きたる次第に御座候が本年度のため教育課の設けなき各支部には是非今回新に御設け下さる間敷候や然して是れが爲課長一名課員若干名を御選定の上各地に適したる運動例へば教育者慰勞會演說會の如き其場合によりては音樂會慈善市の如き開催もよろしからんと存候神戸に於ては昨年は教育者慰勞會を湊川尋常小學校に本年度は慈善市を中宮小學校の教室一部を借受け催し候が是れによりて物質上殆んど百圓近くの純益金を得たるのみならず同校々長始め職員諸氏協力の爲め多大の精神と利益とを與へたられることを感し申候

願くば諸愛姉よ吾等婦人も又刈入場に出てて利鎌をもて垂るゝ八束刈收むべきの好時期に候へば自重を以て本課の爲勇みて盡されんことを切望仕候

日本基督婦人矯風會
教育課長　渡邊　常

青年部欄

○仙臺女子自助館　明治四十年一月十五日本館講堂に於て例會を開く會する者五十餘名會頭欠席なりし爲め副會頭の司會の許に左の順序にて執行

一讃美歌、聖書朗讀、祈禱、會員點呼、前回の記錄朗讀、會計報告、讃美歌、話「青柳一郎の夢」朗讀、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

要は飲酒は滅亡に到るの汽車の如し一朝誤りて之に乘る時は遂に滅亡の府に到らざるべからず、實に恐るべき汽車なれば已に之に一足にても乘りかけし者は速かに下車して禁酒に安全なる道を執るべしと云ふにあり

後徽章掛の報告並に新會員募集等あり一人の入會者木村ふよ子姉を得　喜に充ち讃美祈禱を以て閉會、

二月十二日午後三時例會執行順序左の如し

讃美、聖書朗讀、祈禱、讃美、會員點呼、前回記錄朗讀會計報告、議事、

議事に上りし題は滿韓守備隊慰問に付き東京飯田町教會より勸誘せられし件にして書記其趣意書を朗讀の後一同熟議の上矢野姉の發言にて慰問する事に決議す、

第二は本部課長に變更ありて、再びカントレット姉課長となられ岡姉より音信あり中數個條の問題ありしが此等は役員に附托し先づ一着として伊藤いと子姉（議長指名）をして課長の依賴に應じ新報靑年欄掲載の爲め文章を記草する事に決議せり、

議事終りて司會者日本婦人矯風會々頭矢島楫子老姉の渡米記事を婦人新報より朗讀し一同大に勵されたり、

此日新入會員一名、松坂しん子姉、

讃美祈禱を以て閉會せしは午後四時なりき

四月二十三日午後三時總會を開く司會者松原政代姉、會する者五十餘名、執行順序左の如し、

禮拜、感話「新入學生の爲め本會の目的を說明」司會者役員改選、其結果は左の如し

會長、川澄信子教師、副會長千葉隆子教師、記錄書記中野操子姉、會計今井梅代教師、奏樂掛千葉隆子教師徽章掛小野松治教師、新撰役員の紹介あつて例により閉會す、新入會員三名藤田信子姉、河村おもえ子姉、黑田しん子姉等、五月二十九日午後三時例の如く本館講堂に於て例會を開く出席者五十名餘左の順序によりて會を執行す一讃美、祈禱、聖書朗讀、讃美、會員點呼、前會記錄朗讀、

會務の後本館長ミス、ヒウエツト左の如き感話をせられたり「會の目的は禁酒なるとは申に及ばず徽章とし

て白リボンを附するとは只徒に有らずして各自の心を潔くし神の賜物なる身體を潔く保つべきとを外部に表する爲なり、且つ禁酒事業は本會事業の一部にして其目的の重要點は惡魔の仕事に勝ち我が心中に彼をして處を得させざるにあり麻中の蓬は矯めずして自ら直く江南の橘は北に移して枳となると人も亦其の如く交る社界と居る境遇とによりて不知不識の間に尠なからざる影響を受るものなれば自己の立場を固く執らざるべからず、特に意志弱く思想の强固ならざる年若き諸姉は更に讀書に注意し惡しき書類は一切手にだに觸れぬ樣になし日々の行爲に注意し矯風會員たるに恥じざる樣心を直し其品性を高めて社界の光となる樣心懸けざる可らず」

後讃美を以て閉會す、

六月廿八日午後三時例會を會長司會の許に開く會する者五十餘名、例によりて禮拜事務執行の後千葉牧師並に會長の勸告あり千葉牧師は重に函館遺愛女學校奉會の働き特に花の課の事業に付き悉しく話され會長は羅馬書十ノ十一を取りて之より永き暑中休暇を互に潔く送らん事を勸められ、尙我等主に在る會員は己を潔くし人に恥しめられざる樣注意し其善良なる感化を他人に及ぼす樣心がけべき事を勸められ、四時閉會せり、

七月三日

淺田姉の司介のもとに讃美歌祈禱聖書朗讀等禮拜を以て開會の後ち金澤教會長山牧師には天國の貴婦人と題して熱心に話されたり書記の報告など例の如くありて神谷孝、河瀨たみ、上原かね姉が共に主にありて世界の道德を正し世につくさんがため入會せらる引續き三姉の祈りありて後キプンス女が妙なる音樂につれ百八十番をつたひ共に望みにみち喜こびて散會す

九月十八日

會頭の祈りを以て開會副會頭中村きよ子姉が都合により欠席なして指名一同の同意により米田千代子を副會頭とす

又花の課長ウィン姉が都合上韓國に參られしにより松本みどり姉を改撰す

十月二日

會長の司會により讃美祈禱ありて聖書イザヤ書六章一入まで朗讀あり書記會計の報告は例の如くありて司會者の所感の後内藤姉渡邊姉の熱心なる感話ありて獨聖書朗讀などありて閉會す集會者數四十六名なりき

○金澤青年部　十一月九日午後二時より本校講堂にて金澤市の矯風會と聯合して開會市の會長岩本姉の司會のもとに禮拜後外國人矯風會頭ハブレーブ姉の完全なる品格と題して有益なる勸話ありて各會員感謝の祈りをして散會す

十一月十三日讃美歌聖書朗讀祈禱を以て開會書記の報告の後王宮に於けるダニユルにつきての話あり德田姉のSpeak smoothly but carry a bigsteik　につきての一言と島倉姉のいとも熱心なる勸め等ありたり共に自らをつゝしみ後世を益すべしとて皆々感にうたれて日常をつゝしまんと決心せり讃美散會す集會者數四十七名新入會員二名龍のぶ子青木姉

矯風會通信

本部常置員會　十一月廿八日午後三時より女子學院に於て開催出席者、矢島本多横倉井澤小崎ミスハノグレプ根本戸板富永の諸姉

當日議決せし件は左の如し

一東京に青年部副部長を置く事に決し横倉姉に依賴する事

一東京聯合婦人矯風會の紀念會を兼ね演説會を開催する事

會場は青年會舘とし辯士には島田三郎君山路愛山君餘興には合唱並に異龍齋貞水の講談

一本會の基礎を健固にせん一着として維持會員を東京に募集し漸々各支部に於て募集する事

一本部事務所建設費を擴く各支部並に同情者に募る事

一運動費並に資金を得る爲めの一策として本會に適當なる職業を各自考案する事

一慈愛館の事業に各自多少の責任を以て擴張を計る事

右終り主の祈を以て閉會それより茶菓の饗應を受け午後六時散會したり

十二月十三日午後六時より神田區青年會館に於て紀念演説會を開く年末に際し殊に諸官私立學校の試験に際せし折とて集會者四百餘名矢島會頭の挨拶につぎ島田先生は「自制の力」と題して歐洲の實例を引き古聖人の言をかりて矯風會に警戒を與へられ拍手に送られて降壇カナレー君の快壯なる獨吟終て山路先生には「婦人の勢力」と云ふ題のもとに婦人の心得べき事婦人に對する要求等を述べ喝采の裡に退壇さる右終りて餘興に移る貞水君は三河屋甚平の節儉を講じ大に聽衆の意を得たり

○横濱支部例會記事　十二月九日午後二時より指路教會に於て開會司會者二宮姉聖書朗讀(ローマ十二章)祈禱會計書記及び各課の報告あり續て左の事項を決議す

一、本月は時宜により各課の働きを休む事

一、矢島本部會頭の病氣見舞狀を差出す事

一、來る一月第三月曜日午後二時より大橋姉の宅に於て定期總會を開く事

一、當日の備準係りは北島姉、中村姉通知は書記より餘興係りは北島林の兩姉へ何も依頼する事

一、各課に委員長を置き凡ての處理をなさしむる事

一、交際課委員稲垣姉は目下公私の用多端にてとても本課の爲め働き得ざるにより石川姉を推選せらる依りて本會よりは更に同姉に右委員を依托す

一、退會者

日下部なほ子

一、入會者

石川姉

尙當日は來る一月總會に於て役員改選の爲め長時間を要すを慮り豫め二宮會頭に留任の承諾を請ひ置かんものと諸姉熱心に申出られたれとも同姉は堅く辭退して承け給はず其内時間切迫せし爲め遂に要領を得ずして散會せしは遺憾なりし

●報告

○大阪支部十二月七日土曜午前九時半より中之島六丁目矯風會事務所に於て第九回年會を開く

午前司會細合初子讃美歌百二十二番馬太傳十八ノ十九

十五分間祈禱本年中に受けし恵みの感謝終り二百十四番を以て開會各教會委員の點呼、報告花の課吉岡とり子、風俗課馬場まつ子、軍人課名出昱子、救濟課林とり子又傳道課、母の課、少年課、交際課々長欠席のため清水書記本年中働きの概略と共に報告せられ次に伊東會計の報告ありたり殊に本年は特に與へられたる事業ホームのため少なからぬ金錢の出納苦心の程思ひやらる次に林會長の所感役員選擧に移る投票の結果皆再選せらる、今回花の課長吉岡とり子牧師の伊賀上野に轉任せらるゝにつき送別會を開き總會員に代り林會長挨拶を述べられ姉の本會のため盡されし功勞の萬一を謝するため帛紗を進呈せり時に十二時正午の祈りを以て午前の會を閉づ

午前出席會員五十二名共に會食して親睦會を開く此時東京慈愛館のため集金す三圓十九錢五厘あり

午後二時再び開會

司會田口たけ子讃美歌祈禱の後役員に對し馬場姉の挨拶林會頭答辭課長選擧に移る花の課長吉岡姉に代り緒方重子傳道課宮川姉に代り森山のぶ子九條教會委員に二宮わき子當選せらる、賞旗は大阪教會に授與せられたり

協議四十一年本部大會々場は大阪にて諾するや否やの件滿場一致にて諾する事に決す

ホーム維持の件五錢の會費を十錢にする事

一口五錢の株を千株募り會員多少を論せず分擔する事

但し株は向後滿二ヶ年を期限とす

四十一年度集會場所は追て撰定す來る一月四日新年會は例の通り浪花教會に於て開く

新入會員

蒲原つま　四十年九月入會　丹羽やち　十二月入會　長岡彥六

林みゑ　河野きみ　加藤芳野

松田ゑい　川口照惠　吹田よれ

〆九名

名出昱子十一月男子分娩せらる

長田副會頭再び治療同姉のため特に祈らん事を希ふ

第九回年會報告

明治卅九年十二月より同四十年十一月に至る調査

一　現在員　四百五十四人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一男子賛助員　四十九人

合計五百〇参人

本年中新入會員數　壹百七十六人

永眠者貳名　轉會者五十二人

差引　百二十二人增

定期集會度數　七　回

公開演說會　二度　臨時集會　五度

臨時總會　三度　役員會　拾度

本會設立年月　明治卅二年五月二十八日

本會事務所　中之島六丁目六番地

役員	姓名
會頭	林　歌子
副會頭	長田しん子
書記	清水たね子
同	齋藤ひさ子
會計	伊東じな子
同	深澤ふく子
ホーム主任	林　とり子

課長	姓名
傳道課	森山のぶ子
風俗課	馬場まつゑ子
母の課	杉田いそ子
軍人課	名出いく子
花の課	緒方千重子
少年課	田中曾登子
安息日學校課	細合はつ子
交際課	淺井やす子
安息日課	太田いく子

各教會々員	現在	增	減
大阪	四十三人	二十三	一
浪花	拾六人	六	二
天滿	二十人	二	五
島の內	十三人	二	三
九條	廿二人	十四	〇
東	七人	二	一
西	卅四人	十四	四
南	十人	三	五
北	八十四人	廿五	十一
川口	六十二人	十九	一
朝輪	廿三人	十	一
保羅	十八人	十二	一
三一	十二人	三	〇
救主	十三人	〇	〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

城南	十五人	五	〇
復活	七人	一	〇
東部美以	十七人	六、	五
西部美以	三人	一	三
東淺草	五人	四	〇
西淺草	九人	三	四
天王寺	二人	一	四
傳道館	一人	〇	〇
安治川講義所	十四人	十四	〇
プール女學校	四人	〇	五
特別賛助員	四十九	六	三

明治四十年度大阪基督敎婦人矯風決算報告

收入總高金九千貳百六拾參圓參拾九錢

內譯

金千六百五拾六圓五拾六錢	寄附金
金貳百八拾貳圓貳拾五錢	會費並に雜誌代
金參百〇六圓貳拾壹錢	音樂會の純益
金四拾貳圓五拾錢	株金
金拾參圓貳拾錢	地代
金參拾壹圓六拾貳錢	雜收入
金貳百貳拾壹圓七拾五錢	ホームの收入
金貳百〇九圓參拾錢	繰越金
金六千五百圓	借入金

支出總高金九千二百十七圓二十七錢五厘

內譯

金六千六百五拾貳圓五拾貳圓拾四錢	事務所買入諸雜費共
金七百拾九圓拾六錢五厘	修繕費
金七百圓	返金
金參百拾參圓四拾錢	利子
金貳百六拾壹圓四拾錢壹厘	ホームの支出
金六拾壹圓參拾參錢	税金
金四拾圓貳拾七錢	半ヶ年分義務金大會費幷に旅費
金百拾七圓九拾錢	事務費
金參拾八圓八拾五錢	印刷費
金貳拾壹圓七拾八錢	交際費
金七拾九圓五拾四錢	集會費
金百參拾九圓五拾錢	婦人新報代
金七拾貳圓	書記の手當

差引殘金　四拾六圓拾壹錢五厘

○前橋支部　十一月二十日午後三時松宮はる姉宅にて役員會開會、決議せし件は、一、十二月二日敎會にて禁酒演說會を催し辯士として安藤太郎氏を招く事、一、出來るだけ廣く招待狀を出す事、一、例會を十二月七日午後二時より敎會にて開く事、一、四十年度

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に於ける本會に對しての隨感を述ぶる事、一、四十年度の會計其の他各課の報告書を造り之れを各會員に配布する事、一、今月の訪問委員を松宮正木兩姉に托する事、

木枯しの音すさぶ十二月二日の夕、七時半より豫定通り敎會にて禁酒演説會を堀會頭の司會の許に讃美、祈禱、箴言二十三〇二十九―以下朗讀を以て開會、獄窓廿三年の懺悔者好地由太郎氏の談話「神は愛なり」と云ふ事に就きて自分の實歷談と合せて種々なる方面よりの例を引きて之れを熱心に實證せられ、次いで安藤太郎氏は「聖書と禁酒」との題の元に先づ聖書の中何處を繙くとも何れの處も嚴正禁酒ならざるはなしことに今堀夫人の朗讀されし句は其最も甚しきを見る然し此箴言を書きし人は必ず最初は大酒家にて後ち其害の甚しきを感じてこゝに嚴禁酒の決行を萬人に知らすべく誠實を持つて筆を取りし人たるや疑ひなしと說き起こし「若し斷酒の法を要せば正眼にして醉人を見よ」と云ふ句などを引きて例の快辯をふるひ有益なる一時間餘の演說あり終りに安藤氏の來橋ことに今夜禁酒演説會を機として禁酒會を當地に設立せんとの議青年有志者間より起り其場に入會員十數名出來たりし事は我等會員の感謝に堪へざる處にして散會せしは十時半頃來會者二百名程なりし。

十二月九日午後二時敎會に例會に代へて感謝會を讃美祈禱聖書ローマ書十二〇朗讀を以て堀會頭の司會の許に開く始めに會頭は各役員はじめ會員に對して各自其務めを忠實に盡されし事は眞に感謝に堪へぬ次第なりとの丁寧な挨拶に次いで松宮はる子姉の過去一ヶ年間の事どもをかへりみて此小さき會として此少數なる會員より成立せる本會としては充分と思ふ樣に各方面に於て働き今此年を送るに際して感謝の出來ると云ふ事は偏に各役員の其責を快よく分擔せられし結果に外ならず願はくば來る年は猶一層善き實を結ぶように協力あらん事を望むとの所感あり續いて三四名の感話祈禱ありて三時半頃散會せり。

會計決算報告　（明治四十年度）

一金六拾七圓四拾八錢貳厘　　總收入額

内譯

金拾壹圓七拾八錢貳厘	前年度繰越
金貳拾五圓貳拾錢	會費集金
金貳拾五圓五拾錢	臨時寄付金
金五圓	本部より賞與金

一金五拾九圓貳拾八錢貳厘　　總支出額

内譯

金參拾九圓〇二錢七厘	演説會費（非公娼演説禁酒演説矯風演説）
金六圓〇九錢五厘	特別費、交際、歡迎、寄贈の爲
金九拾九錢	例々會費
金五拾九錢五厘	通信費
金九圓七拾參錢	本部義務金（有給書記支給大會代員旅費）
金壹圓五拾壹錢	帳簿及集金袋支拂票
金壹圓參拾參錢五厘	花の課支出

差引金八圓貳拾錢　　次年度へ繰越

明治四十年十二月前橋婦人矯風會々計花崎京代子

○藤澤支部　會員總數五十二人市内在住會員三十一人市外在住會員二十一人本年度退會者一人義務金を納むるもの二十五人

矯風演説會一回、禁酒演説會二回、衛生講話會二回

非公娼演説會二回特別運動五回

花の課病者慰問二十二人、寄贈品花入東、カード七物品七、小册子二（以上七月以降）

○藤岡支部　十一月十四日午前十時より綠野教會に於て上毛婦人矯風大會を開く。前橋、高崎安中、原市、富岡の會員諸姉來會。堀愛子司式の下にグリスオールト孃の適切なる勸話其他諸姉の祈禱、感話等あり、次て各矯風會の報告等あり十二時一先づ閉會。當日午後の婦人大會の時刻もせまり居る事とて諸姉妹團欒會食中左の件を決議す。

一年々上毛各地に於ける矯風會より大會開催の矯風會へ費用補助の爲め出金すべき金貳圓づゝは本年に限り東京本部建築費用の内へ寄附する事即ち之を矯風會より集まる金拾貳圓は來年一月本部へ送金すること

二各地に於て各矯風會の開會の都度感謝金として捧ぐる一錢二錢は貯蓄して來る四十五年の大博覽會を機

として働かむとする傳道費用の内へ寄附する事仝時に吾等は四十五年に於て仝胞救靈の上に神の祝福を計る事

三群馬縣知事交更に就ては婦風會と官邊と意志の疎通をはかる便宜の一として知事夫人等と交際する事歡迎會を催す事、贈物として新舊約聖書を呈する事、本部と交渉して出來得べくは婦人新報を毎號一部宛送る事

席上聖書代金は直に集金せり

午後は婦人大會とし各方面の夫人令孃を招き東京より小林富二郎野口末彦両氏の來演を得各其たまものを感謝して午後四時閉會しぬ。次回は原市に於て開くべくなほ本會を始めとして記錄簿を置き漸次開催の地に回送して其所々に於て當日の記錄をなし永く上毛婦人矯風大會の記錄を止め置く事

○堺支部公開演說會　十一月十九日午後七時より堺日本基督教會に於て開會す此の日雨天にも係はらず集會者六十名吉井姉司會の下に讃美（二百三十二）聖書（羅馬書十二章）朗讀祈禱の後尾形虎三牧師は禮儀、馬場錐作牧師は風俗と禁酒と題して熱心なる演說をなされたり一同大に勵まされ祈禱讃美（二百九十二）鈴木牧師の祈禱もて閉會せり

○羅府支部　十月十八日金曜日午後七時半より池內ドクター事務所に於て本會第五母の會を開催せられしに出席者八名堀見夫人司會の下に讃美祈禱聖書朗讀の後當夜の出演者小林牧師には（犧牲）てふ題の下に總て如何なる事を爲すにも自己の身を犧牲に供するの覺悟あれば必ず成し遂げらる云々と古事を引證して熱心に感話せられ次に池內ドクターは妊婦のしるべき事と題し妊娠中に於る胎兒の變化、妊婦の異狀攝生衣服及び產時の注意に就て述べられたり前者は精神的に後者は肉体的に何づれも興味滿々として來會者一同多大の益を與へらる後茶菓を喫し一同喜悅の内に時計の針の進行を忘れつゝ別れを惜みて散會せしはゝや十時半頃なりき

當夜は來會者小數なるにも拘らず實に趣味多き會合に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でありき

○王府　加州キリスト教米國婦風會總會の略報　同會は去る十月十四日より同く十八日に渡りて桑港に近きペタルマど稱る地方に開催せらる依て當オークランド日本人キリスト教婦人婦風會よりも二名の代表者即ち堂本まつゑ夫人及び竹下千代婦等の出席あり外にアラメダ郡白人婦風會よりは十七名の（會頭もともに）出席者ありことに桑港其他の地方より赴かれたる會員ほとんど百名以上にして船中も汽車中も中々に盛んなるものなりき夕方ペタルマに着す該地教會の諸婦人等は數代の田舍馬車を出して來會員を迎へられたり教會に至れば衆多の白衣を纏ひたるホワイトリボンの諸夫人諸孃先づ入口に我等を迎へ直に堂內の大廣間にともなはれ暫時休息の後かねて整備しある食卓につかれ互に談笑の中に食を終はるや八時半より次の間なる即ち禮拜堂にて其夜は幼年軍の可憐なる唱歌演說暗誦對話等ありて賓に見事によそをはれたる樣は一層目を引き遠路の疲勞を慰するに最も適當なりき

翌日即ち十四日より總會に移り每會前必ずデボショールミーチングを以てす會衆概ね百五十名餘滿堂綠葉と花とを以てかざられたる周圍に各郡より持參せし美麗なる郡旗翻がへりかつ代表者は皆各々三角形の白旗をもちて着席嚴肅なる講壇の上には會頭をはじめ各役員其の左右に座して會を指揮せり先づ讃美祈禱挨拶等ありて州の報告各郡よりの報告あり午後にはまた殘餘の報告有益なる演說等あり其大要は禁酒事業を盛んならしむる事各市より各邑各村より酒屋を驅逐する事政府に酒屋禁示案を提出する事等なり總會は四日間引き續きたる事なりせば其間には最も有益なる數回の演說もありたる筈なりしが我等は水曜日に歸王せし事とて只選擧にて止まりたる事なれば餘聞はステートマイニートにて相知る事とせり水曜日午前は役員の選定なり其日の當選者は左の六名なりき

會　長　ミセスドーア
通信書記　ミスチエース
記錄書記　ミセススペンサー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オーデトア　ミセスペリー
會計　ミセスホルストン

副會頭ミセスミラーは斯く投票終つて各々主の御助けと互の親しみとに依り益々其任に忠實ならん事に約して壇を下らる會集皆白旗を振りて挨拶の意を表せり我等兩人は右終りて直に歸王す決議案等又追て報ずべけれど其中の一は當沿岸に於ける日本人キリスト教婦人矯風會の爲には出來得るだけの全力を以て何なりとも其もとめに應ずる事とにありき次回の大會々場をサノゼ市と定む、

十一月四日第一月曜日午後五時王府組合教會にて王府キリスト教婦人矯風會例會を開く司會者は大久保牧師夫人にして婦人の勤めてふ題のもとに特に有益なるすゝめありたり來會者頗る多くアラメダ郡日婦人矯風會の側よりも多數の出席者あり書記會計の報告の後特に此度は去る十月十四日より十八日に渡りて開かれたるペタルスにての加州米國婦人矯風會を代表として出席せられたる堂本夫人並に竹下千代の子等の大會の模樣など種々報告するところあられたれば時の移るを不覺やがて茶菓に移り散したるは五時半なりき

九月二日第一月曜日午後三時バークレー市フレント教會内に開く會頭高橋夫人司會最も有益なる一場のすゝめをせられ後例に依り書記會計の報告ついて今回渡米せられし山陽女學校教頭上代女史の有益なる演説あり其大要は日本女子固有の美風を維持すること特に年若き婦人中にこの風の維持をつとむべき事及青年諸氏を慰る所謂交際課の必要等を説かる後親睦に移る來會者三十名夕暮れの頃會を散す

本日の入會者二名、齋木千勢子　渡邊　孃

雜誌代領收

金二圓八十錢(四〇年十一月迄)安中婦人矯風會員四名
金二圓　(四〇年七月迄)　岡部直子姉
金一圓　(三十九年六月迄)倉島あさ子
金十二圓五十錢　(四〇年十月迄)　大阪支部
金七十錢　(四十一年十月迄)女子聖學院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クリスマス 新年 御進物用

冨田了山君譯
○ベツレヘムの廐　印刷中 定價凡二十五錢 郵税四錢
右は有名なるバンダイク氏のフォルスト、クリスマスを譯せしものなり

○曉天　印刷中 定價凡二十五錢 郵税四錢
本書はピーブ、オブ、デーを譯せしものなり

○童蒙基督傳　印刷中 定價五錢 郵税二錢

百島冷泉君著
○通俗天路歷程　定價二十錢 郵税二錢

コルチス夫人著
○英文救の話(ストーリー、オブ、サーベーション)　定價四十錢 郵税四錢

ゲーベル浮田、小崎、海老名諸先生講演集
○最近思想と基督教　定價五十錢 郵税六錢

アトキンス氏著 大谷㑺君譯
○兒童の宗教　定價金四十錢 郵税六錢

トランベル氏著 櫻井成明君譯
○日曜學校敎授法　定價金三十錢 郵税六錢

シエルドン原著
○美山夫人 田中榮子 兩女史譯七日間　定價三十五錢 郵税四錢

シエルドン原著 安孫貞次郎君譯
○みあしのあと　定價參拾五錢 郵税六錢

青山學院敎授山田寅之助先生著
○埃及聖地旅行談　定價五拾錢 郵税八錢

佐藤廣吉君著
○平和の福音　定價四拾錢 郵税六錢

神學士田中逵君譯
○哲學の諸問題　定價參拾錢 郵税四錢

神學士田中逵君譯
○神の觀念　定價參拾錢 郵税四錢

神學士田中逵君譯
○人の運命　定價貳拾錢 郵税四錢

根本正君譯
○日々の力　定價 布五拾錢 紙卅五錢 郵税六錢

根本正君譯
○貧兒出世美談　定價貳拾五錢 郵税六錢

根本正君譯
○世界最大のもの　定價五　錢 郵税二錢

根本正君譯
○歐米青年立身傳　定價五拾錢 郵税八錢

根本正君譯
○歐米女子立身傳　定價四十錢 郵税八錢

渡邊房吉君譯
○青春の危機　定價卅五錢 郵税六錢

碧川企救男君著
○野百合　定價廿五錢 郵税四錢

疋田彰爾君著
○子供のため　定價貳拾錢 郵税四錢

岡野敬胤君著
○小年週話　定價廿五錢 郵税四錢

古谷新太郎君著
○話の園　定價二十五錢 郵税六錢

田中太郎君譯
○千代の功績　定價二十錢 郵税二錢

スカッダー先生著
○くりすますのよろこびのおとずれ　定價二十錢 郵税二錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○英文クリスマス對話集　定價四十錢　郵税四錢

○常盤演藝集　定價四十五錢　郵税六錢

ハリソン氏原著松本春枝君譯
○兒童研究　定價上製七十錢郵税八錢

日本メソヂスト教會監督
○本多庸一先生説教集　定價六十錢　郵税八錢

青山學院教授
○山田寅之助先生説教集　定價四十五錢　郵税六錢

バウン博士著小山正武君譯
○基督教天啓論　定價二十五錢　郵税四錢

バウン博士著小山正武君譯
○基督信徒の生活　定價二十五錢　郵税四錢

山康族之進君譯
○耶蘇基督　定價三十五錢　郵税六錢

金子堅太郎君述
○國家存在の原則　定價十錢　郵税二錢

○略註新約全書
背皮　六十錢
紙表紙　三十錢
總皮金縁　一圓
クロース　卅五錢
折皮金縁　一圓廿五錢
總クロース　四十五錢
郵税　八錢

島田三郎君演説
○酒禍の實驗　定價一册五錢
廿册以上二割引
郵税三册迄二錢

竹村修君著
○青春の佳期　定價八十錢　郵税八錢

布施知足君著
○青年氣質　定價三十錢　郵税四錢

本多増次郎君譯
○黑馬物語　定價五十錢　郵税六錢

畔上賢造君著
○グラドスン傳　定價二十五錢　郵税四錢

鎌田榮吉君著
○ルーズヴェルト集　定價四十錢　郵税六錢

生田弘治君著
○讀書の趣味　定價前編三十錢 後編四十錢　郵税六錢

吉川潤三郎君著
○向上の生涯　定價廿五錢　郵税四錢

木下祥眞君著
○成功論　定價廿五錢　郵税四錢

○修道講話　定價四十錢　郵税六錢

○人生の福音　定價五十錢　郵税六錢

○理想の紳士　定價二十五錢　郵税四錢

本多増次郎君著
○カタミのボタン　定價二十錢　郵税四錢

○英文ジングルス、フロム、ジャッパン　定價壹圓　郵税六錢

○舶來泉筆　定價五圓ヨリ廿五圓迄種々

○キリスト、マリヤ及エンゼラスの寫眞　一枚二十五錢　郵税二錢

○クリスマスカード繪本曆等新荷澤山到着

東京市京橋區銀座四丁目壹番地
教文館
電話新橋二五二六番　振替貯金一一三五七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四拾壹年用

○吾家の歷史

定價 折皮金緣一圓 折皮九拾錢 布四拾錢
郵税八錢

吾家の歷史は一日を往來、爲したる事、得たる思想、社會の出來事、雜事の諸欄に分ち、詩歌と、格言と、殊に其日に起りたる歷史上の事實を記載したるは趣味頗ぶる至れりと云ふべし、卷頭に、結婚、誕生、永眠等の家乘錄と其他の便覽を付したり、其用意の周到と注意の綿密なる蓋し稀に見る處の日記簿なり

海老名彈正君序 渡瀨常吉君著

國體と基督教

定價二十五錢
郵税四錢

◎加藤博士の所論を駁す◎

本書は最近我國の思想界に多少の波瀾を起せる加藤老博士の吾國體と基督教を駁論したるものにて苟も博士の著書を繙きたるものは彼我論爭の如何に付て看過すべからざるのみならず凡そ基督教と科學及國體の關係を知らんとする者は是非一讀せざるべからざる近來の珍書なり

既刊の分

○基督教叢書の內

有馬純清君著 ○基督教辨證論 定價二十錢 郵税四錢

露無文治君著 ○基督教本原眞理 同二十錢 同四錢

八濱德三郎君著 ○基督の比喩 同二十錢 同四錢

○以下次順發賣○

宮崎八吉君譯

アウガスチン 懺悔錄

定價七十錢
郵税八錢

肉慾の甘樂、罪惡の苦悶、人生の哀別離苦、花林孤影の大泣哭、而して清亮なる聖徒的獨身生活嗚呼是れ血あり肉あり良心ある代表的偉人の懺悔なり、明確不磨の見神在り玲瓏徹底の默會在り、信者不信者之を讀んで其の自個寫眞鏡なるを知れ、

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 警醒社書店 (振替貯金五五三番)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿八號
(毎月一回發行)明治四十二年十二月廿五日發行

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

復刻版 婦人新報 第3回配本〔第13～18巻〕

1985年8月10日 発行

定価 60、000円

発行者 船橋 治
発行所 不二出版(株)
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433
印刷所 ワールド印刷
製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 212 012
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA